## 京都市小学校児童

# 水泳能力調査結果報告書

令和6年度

京都市教育委員会 京都市小学校教育研究会体育部

## 令和6年度京都市小学校児童 水泳能力調査結果報告書

## 目 次

1	調査の概要	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
2	今年度の結果と考察																		•			2

## 調査の概要

- 1. 目 的 本市小学校児童の水泳能力調査を行い、児童の水泳能力の実態を把握し、 今後の水泳指導の基礎資料とする。
- 2. 対 象 プール保有校の3年生以上の児童を対象に調査する。
- 2. 調査時期 令和6年度プール開設期間中
- 3. 調査方法 京都市学童水泳能力基準表(以下)により水泳指導終了時の記録を調査する。

### 京都市学童水泳能力基準表

※1級	クロール50m、平泳ぎ50m、どちらも泳ぐことができる
※2級	クロール25m、平泳ぎ25m、どちらも泳ぐことができる
※3級	クロールか平泳ぎ、どちらかで25m泳ぐことができる
4級	呼吸 (息継ぎ) をしながら 2 5 m浮いて進める (泳げる)
5級	10m浮いて進める(泳げる)
6級	5 m浮いて進める(泳げる)
7級	け伸び(2m程度)ができる

<sup>※</sup>高学年は1~7級、中学年は4~7級を調査報告の対象とする。

#### 4. 令和6年度 標本数 (人)

	男	女	計
3年	5,070	4,599	9,669
4年	4,883	4,665	9,548
5年	5,039	4,676	9,715
6年	5,027	4,739	9,766
計	20,019	18,679	38,698

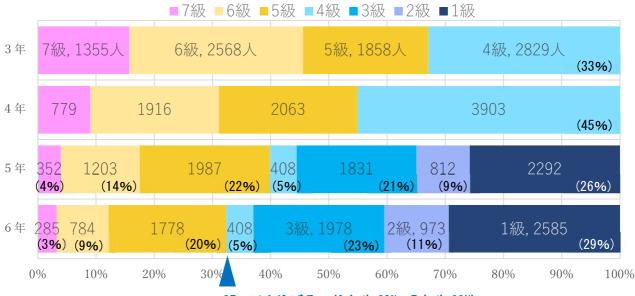
#### 5. 令和6年度 集計結果 (人)

学年	性別	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	計
3	男	643	1,277	956	1,646				4,522
3	女	712	1,291	902	1,183				4,088
4	男	344	871	1,024	2,185				4,424
4	女	435	1,045	1,039	1,718				4,237
5	男	164	552	916	206	952	418	1,371	4,579
3	女	188	651	1,071	202	879	394	921	4,306
6	男	137	321	807	203	1,081	495	1,572	4,616
0	女	148	463	971	205	897	478	1,013	4,175

#### 令和6年度の結果と考察

下のグラフは、泳力級の割合を学年ごとに示したものである。





25m以上泳げる。(6年生68%5年生60%)

上のグラフの通り、学年が上がるにつれて 6 級や 7 級の占める割合が小さくなり、4 級 (25 m以上) の割合が大きくなっている。学年とともに泳力が伸びていき、70 %程度の児童が卒業までに 25 m以上泳ぐ力をつけることができている。6 年生女子 $^{①}$ の 25 m以上泳げる児童の割合は令和 3 年度以来、初めて 60 %に達した。今年度の 6 年生は昨年度の 6 年生 $^{②}$ よりも数%とは言え、25 m以上泳ぐことができる児童が多い。

今年度の5・6年生が低学年の時、新型コロナウイルスの影響で水泳学習を実施できなかった。6年生の記録が、水泳学習を完全に履修していた昨年度までの6年生以上の結果となっていることから、過去の考察にもある通り、新型コロナウイルスによる水泳学習への影響は解消された可能性がある。

一方で、<u>令和元年度以前の記録</u>では、卒業までに9割近くの児童が25m以上泳ぐことができていた。 学習指導要領の改訂に伴い、学習で目指す姿も変化していることと、働き方改革の一環として夏休みの 水泳学習が無くなってきていることから単純な比較はできないが、やはり、さらに児童たちの泳力が高 まるようにしたい。

そこで、重要なのは息継ぎと水中で力を抜くことである。息継ぎができれば長く泳ぐことができ、息継ぎをするためには、余計な力を抜いて体を浮きやすくする必要があるからだ。

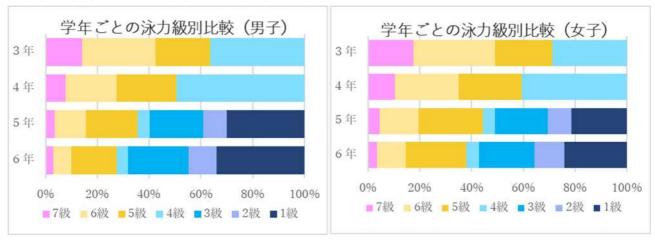
これに役立ちそうな実践を見ることができた。その実践では、水慣れをしてる時に指導者がバブリングの指導を合わせてしていた。水慣れの時、児童は順番に指導者の前を通りかかるので、指導者が水中で息を吐く指導を個別にできる。また、個人のめあてに関わらず、毎時間、必ず一定の機会を確保することもできる。

このような丁寧な指導をどの学年でも、誰が指導する時にも実施できれば、中学年で泳ぎ方を学ぶと きに飛躍的に泳力が伸びるのではないだろうか。低学年ではプールの中を歩く時に指導し、高学年では けのびの時に指導するなど、発達段階に合わせて工夫することも考えられる。

3年生で息継ぎをしながら泳げることに気付き、4年生で泳げる距離をさらに伸ばしたくなる。児童 たちがこうして中学年の時期を過ごし、高学年でさらに泳力を伸ばせるようにしていきたい。

#### 参考資料

① 令和6年度 男女別、学年ごとの泳力級別比較



#### ② 令和5年度 学年ごとの泳力級別比較

